学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	課題実習Ｂ（映像）	単位数	4 単位	年次	3 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

映像デザイン分野の学びを統合し、応用的な作品制作に挑む科目です。地域企業との連携によるCM制作や短編映画の共同制作など、実践的な課題を通して専門技術の深化を図る。自ら課題を発見・解決し、主体的かつ協働的に取り組む姿勢を重視する。制作への真摯な態度に加え、企画書や「振り返り」を含む提出物の充実度を高く評価し、社会に繋がる実践的な創造力を養います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
映像制作の応用技術を習得し、社会的意義を理解して、安全かつ円滑に機材やアプリを使いこなす。
【思考力、判断力、表現力等】
課題を分析・発見し、科学的根拠に基づきクライアントの意図を汲んだ適切な解決策を表現する。
【学びに向かう力、人間性等】
広い視野を持ち、自己の役割を自覚して、分野の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	映像デザインの社会的意義や技術との関わりを理解し、作品制作に必要な応用的な知識と技術を習得することを重視する。機材やアプリケーションの高度な操作に習熟し、社会人としての礼儀やマナーを心得て、安全かつ円滑に実習を進める技能を評価する。これまでに学んだ専門性を統合し、実践的な制作活動に生かす力を評価対象とする。	制作上の課題を分析・発見し、科学的根拠に基づき技術の進展に対応しながら解決する力を評価する。クライアント（企業等）の意図や消費者の視点を的確に捉え、最適な企画立案や映像構成を論理的に判断する能力を重視する。分析と検討を繰り返し、創意工夫を凝らして目的を達成するための具体的な解決策を表現し、作品を構築する力を評価する。	映像デザインの発展に向け、広い視野を持って主体的かつ協働的に課題解決に取り組む態度を評価する。自身の役割を自覚して積極的に他者と関わり、産学連携等の実践的な活動を通じて粘り強く作品制作に励む姿勢を重視する。実習での経験を今後の制作活動に生かそうとする向上心や、真摯な態度でプレゼンテーション等に臨む姿勢を評価の対象とする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期・後期	ＣＭフォトコース	広告写真制作に特化し、一消費者の視点と制作者の視点を融合させた高い訴求力を持つ「広告ビジュアル」を企画・撮影・編集する。	a:映像デザインの社会的な意義や役割を理解し、機材やアプリケーションをプロレベルの表現に応用できる高度な技能を習得している。 b:クライアント（企業・店舗）の意図や市場のニーズを的確に理解し、制作者および消費者の両面から適切な思考・判断を行い、説得力のある企画を立案・表現できる。 c:課題解決に向けて粘り強く分析・検討を繰り返し、ものづくりに対する真摯な態度と強い向上心を持って実習に励んでいる。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り
前期	ＣＭビデオコース	地域企業からの依頼に基づき、クライアントの要望を直接汲み取り、企画・制作・プレゼンテーションという実社会のワークフローを体験する。	a:実習を安全かつ円滑に進めるための基礎知識に加え、産学共同連携において不可欠な礼儀や社会常識を身に付けている。 b:クライアント（企業・店舗）の意図や市場のニーズを的確に理解し、制作者および消費者の両面から適切な思考・判断を行い、説得力のある企画を立案・表現できる。 c:課題解決に向けて粘り強く分析・検討を繰り返し、ものづくりに対する真摯な態度と強い向上心を持って実習に励んでいる。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り

後期	映画ビデオコース	短編映画制作に取り組む。映画コンペへの出品を目標に、グループ内での明確な役割分担のもと、チーム一丸となって質の高い映像作品を構築する。	a:制作工程の全体像を把握し、専門的な技術を統合して、品質の高い作品を合理的な手順で完成させることができる。 b:映像デザインに携わる者として、科学的な根拠に基づき技術の進展に対応した解決策を自ら講じ、作品のクオリティに反映させることができる。 c:共同制作において自身の役割を深く理解し、責任を持ってプロジェクトに貢献するとともに、他者と切磋琢磨しながら作品を向上させようとしている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り
前期・後期	トータルデザインコース	地域と地域企業の調査を含め、実際の「店舗探し」からスタートする。クライアントの要望を直接汲み取り、企画・制作・プレゼンテーションという実社会のワークフローを体験する。	a:実習を安全かつ円滑に進めるための基礎知識に加え、産学共同連携において不可欠な礼儀や社会常識を身に付けている。 b:クライアント（企業・店舗）の意図や市場のニーズを的確に理解し、制作者および消費者の両面から適切な思考・判断を行い、説得力のある企画を立案・表現できる。 c:課題解決に向けて粘り強く分析・検討を繰り返し、ものづくりに対する真摯な態度と強い向上心を持って実習に励んでいる。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 報告メール 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度